

シェア・インターナショナル ニュース

目に見えない迫り来る危険

【何年にもわたって『シェア・インターナショナル』誌は、智恵の覚者による記事を掲載してきました。それらは決して神秘的な、あるいは世俗を離れたものではなく、人類が直面する現実の問題がしばしば取り上げられています】

もし人間が、わたしたち覚者が見るように世界の状態を見るならば、驚愕し、啞然とし、同時に恐れおののくだろう。地球の状態についての人間の見解はあまりにも現実から乖離しており、未来の可能性についてあまりにも判断力を欠いているので、助けなしには、彼らの住処であるこの惑星が衰え死んでいくのをただ傍観することになるだろう。

実情は、地球という惑星は悲しむべき危険な状態にあり、日ごとにいっそう重体に近づいていく。多くの声が地球の温暖化について警告を發し、また多くの見解が表明されてきた。しかし最も恐ろしい予告でさえ、今日世界にふりかかっている惨禍にははるかに及ばない。この脅威の即時性とそれに対処するために必要なステップの緊急性を理解する者はほとんどいない。

地球温暖化によって引き起こされる危難が大きいことは確かだが、残念ながら、これは人間が今日直面している最大の、あるいは最も危険なものではない。知ってか知らずか、人間はゆっくりと、しかし確実に人類種族と低位王国（動植物界）にますます毒を盛る行為に駆り立てられている。あらゆる種類、あらゆる分野の毒性、汚染は、いまや人間と動物そして地球そのものにとって最大の危険である。すべてが毒され、それぞれが病んでいる。

悲しむべき物語

人間には知られていないが、わたしたち（智恵の覚者方）に明らかなのは、この悲しむべき物語の中で人間と惑星が被っている最大の害は、核放射能によって引き起こされている。人間はこの最も危険なエネルギー源の開発において、あまりにも間違っただ道に進んでしまった。貪欲と、巨大な利潤を求める誤った願望によって邪道へと導かれ、これまで発見されたものの中で最も危険なエネルギー源を‘手なづける’実験に集中してきた。そしてその一方、原子のエネルギーの完全に安全な別の用い方を無視してきた。低温で無害な核融合は、海洋や河川から、そして雨が降るたびにどこからでも入手できる水から簡単に得られる水素の同位体から得ることができるのである。

人間は‘死をもてあそぶ’ことをやめなければならない。広島と長崎の破壊は、投下された原子爆弾の核分裂の結果である。それがチェルノブイリの爆発で起ったものであり、今日、人知れず死や病気を引き起こしている。それは、“あるべきではないもの”であり、もし人間がさらに繁栄しようとするならば、放棄されなければならない。

自信

地球の科学者たちは、自分たちが化け物を実際に手なづけており、それをコントロールし続け得るという自信を持っている。彼らは自分たちの使う機器が実に粗雑なものであり、核放射能の低位の面のみしか測定できず、濃密な物質界（固体・液体・気体）の上位にさらに精妙なレベルがあり、（そこに蔓延する汚染が）すべてのものの健康と安寧にいっそう危険であることに気づいていないのである。この目に見えない危難を軽減しようと、カルマの法則の許す範囲内でたゆみない努力をしている宇宙の兄弟たちの助けがなければ、われわれの状態はまさに危険極まりないものであろう。人類よ、目を覚ましなさい！

（シェア・インターナショナル2006.6月号より）

註：覚者方とは、太古の昔から舞台の背後で人類を導き鼓舞して来られた大悟され完全の域に到達された方々の一団である。その一団（ハイアラーキー）の長の職務にあるのがマイトレーヤという方である。今、彼らは、人類が最も緊急な世界の諸問題を解決するのを助け、分かち合いと、社会・経済的正義と、世界的な協力に基づく新しい文明の創造を鼓舞するために、日常の世界に戻って来られようとしている。